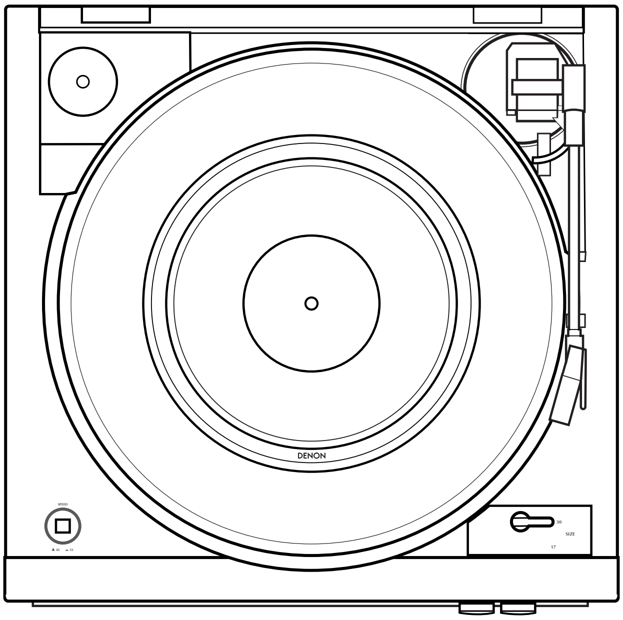
DENON
取扱説明書

DP-29F

FULLY AUTOMATIC TURNTABLE SYSTEM

フルオートマチック ターンテーブルシステム



目　次

安全にお使いいただくためにー必ずお守りくださ

- **お買い上げいただき、ありがとうございます。**
- **ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**
- **お読みになった後は、後日お役に立つことも有りますので、必ず保存してください。**

1　使用上のご注意

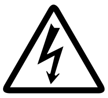
正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

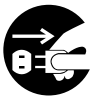
絵表示の例



△ 記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

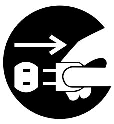


● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警告

■安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く



電源プラグをコンセントから抜け

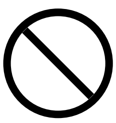
煙りが出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

水が入ったり、濡らしたりしないように



雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
火災・感電の原因となります。

内部に異物を入れない



通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

使用上のご注意（つづき）

警告つづき

■安全上お守りいただきたいこと

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

キャビネット（裏ぶた）を外したり、改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

ご使用は正しい電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

ＡＣ アウトレットのご使用は表示供給電力内で

接続する装置の消費電力の合計が表示供給電力を超えないようにしてください。火災の原因となります。また供給以内であっても、電源を入れたときに大電流の流れる機器（電熱器具・ヘアードライヤー・電磁調理器など）は接続しないでください。

雷が鳴りだしたら

電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

乾電池は充電しない

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

落としたり、キャビネットを破損した場合は

まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

■取り扱いについて

風呂・シャワー室では使用しない

火災・感電の原因となります。

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠注意

■安全上お守りいただきたいこと

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

電池を交換する場合は

極性表示に注意し、表示通りに正しく入れてください。間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

■置き場所について

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。
落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。
- ●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- ●湿気やほこりの多いところ
- ●直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

壁や他の機器から少し離して設置する

壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

使用上のご注意（つづき）

⚠注意つづき

■取り扱いについて

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔が開けてあります。次のような使い方はしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがります。

●あお向けや横倒し、逆さまにする
●押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
●テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いて使用する

この機器に乗ったりぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。
倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きいものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり､落下して、けがの原因となることがあります。

移動させる場合は

まず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行なってください。
コードが傷付き、火災・感電の原因となることがあります。
この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。
倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■使わないときは

長時間の外出・旅行の場合は

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

■お手入れについて

お手入れの際は

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。

5 年に一度は内部の掃除を

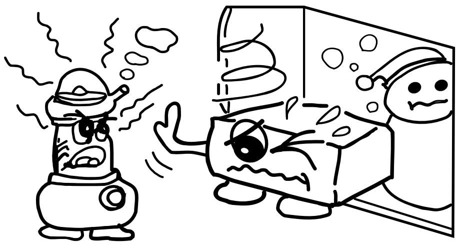
販売店などにご相談ください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。
なお、内部の掃除費用については販売店にご相談ください。

2 取り扱い上のご注意

結露現象について

■ **結露とは**
冬期に暖房をした部屋の窓ガラスに水滴がつくような現象をいいます。

■ **結露が起こる条件は**
冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、本機内部の動作部に露がつき、正常に動作しなくなることがあります。
結露は、夏にエアコンの風が直接当たるところでも起こることがあります。その場合には本機の設置場所を変えてください。



■ **結露後の処置は**
◎結露が起こった場合は、電源を入れてしばらく放置しておいてください。周囲の状況によって異なりますが、1 ～ 2 時間で使用できるようになります。

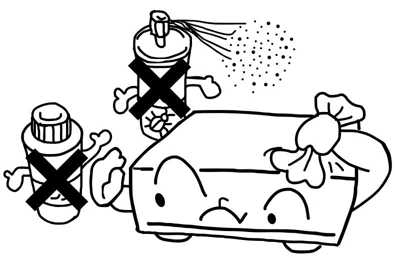
◎ディスクに露が付いている場合がありますので、きれいに拭き取ってください。

お手入れについて

■ キャビネットや操作パネル部分の汚れをふきとるときは柔らかい布を使用し、軽くふきとってください。

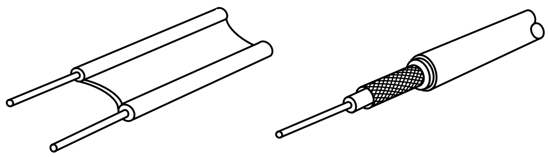
◎化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると変質したり変色することがありますので使用しないでください。



設置の際のご注意

■ 本機やマイコンを搭載した電子機器をチューナーやテレビと同時に使用する場合、チューナー・テレビの音声や映像に雑音や画面の乱れが生じることがあります。このような場合には次の点に注意してください。
◎本機をチューナーやテレビからできるだけ離してください。
◎チューナーやテレビのアンテナ線を本機の電源コードおよび入出力などの接続コードから離して設置してください。
◎特に室内アンテナや300Ωフィーダー線をご使用の場合に起こりやすいので、屋外アンテナおよび75Ω 同軸ケーブルのご使用をおすすめします。

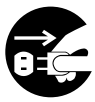


300Ω フィーダー線　　75Ω 同軸ケーブル

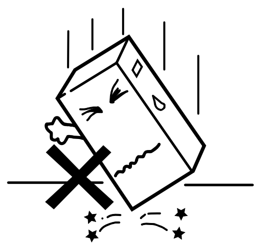
放熱のため、本機の天面、後面および両側面を壁や他 AV 機器等とは 10cm 以上離して設置してください。

使わないときは

■**ふだん使わないとき**
◎電源を切ってください。
◎外出やご旅行の場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



■**移動させるとき**
◎衝撃を与えないでください。



◎必ず電源プラグをコンセントから抜いて、接続線を外したことを確認してからおこなってください。

ヘッドホン使用の際のご注意

■ヘッドホンをご使用になるときは、音量をあげすぎないようにご注意ください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

3　本機の特長

1　簡単操作のフルオートマチックプレーヤー
スタートボタンを押すだけの簡単操作で演奏を開始します。演奏終了後トーンアームが自動的に元の位置に戻り、ターンテーブルの回転がとまります。

2　イコライザースイッチを装備
イコライザースイッチを切り換えることで、ステレオアンプと接続して楽しんだり、ラジカセなどと接続してお手軽に音楽を楽しんだりすることができます。

3　軽量コンパクトなボディ
軽量コンパクト設計ですので設置する場所を選びません。

4　イコライザースイッチについて

この製品にはイコライザーが内蔵されています。
接続して使用する機器によって、次のように切り換えてください。

ＯＦＦ：ステレオなどの「ＰＨＯＮＯ」入力に接続する場合「ＯＦＦ」側へ（内蔵イコライザーは使用しない）

ＯＮ：その他の入力端子「ＡＵＸ」やラジカセなど、イコライザーを持たない機器と接続する場合：「ＯＮ」側へ（内蔵イコライザーを使用する）

注意

● イコライザースイッチは工場出荷時「ＯＮ」側になっています。ターンテーブル、ターンテーブルシートを装着する前に必ず確認してください。

● イコライザースイッチが正しくセットされていないと音が極端に小さかったり、歪んだりします。

5　付属品について

★ 梱包箱の中には、本体とは別に下記の付属品が入っています。
ご使用の前にご確認ください。

① 取扱説明書（本書）-------------------------1

② 製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表----------1

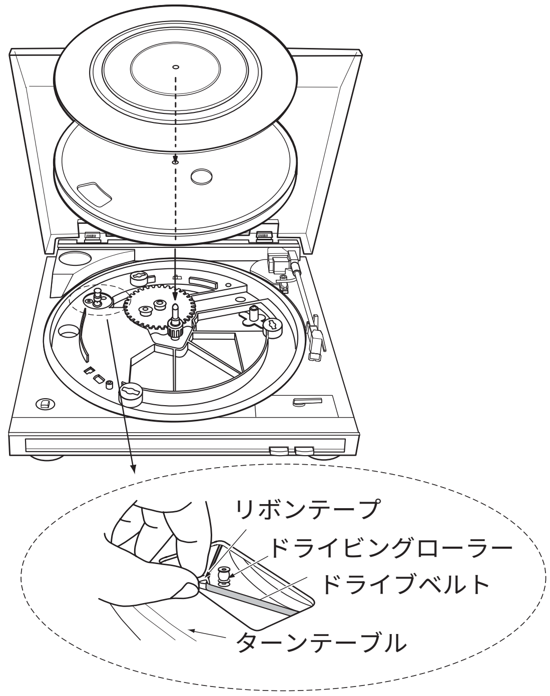
③ 保証書-----------------------------------1

④ ターンテーブル-----------------------------1

⑤ ターンテーブルシート ----------------------1

⑥ 45 回転レコード用アダプター ------------------1

6　組み立てかた



- ドライブベルトがターンテーブル裏側内部に取り付られています。プレーヤーを組み立てる時に注意して取り扱ってください。
- トーンアームクランプ用ビニタイ以外の包装材を全部取り、ダストカバーを開けて組立てます。最後にトーンアームクランプ用ビニタイを外します。

1 ターンテーブル外側の穴でターンテーブルを持ち、中央の穴にセンタースピンドルが入るように静かに下ろします。外側の穴の一つがドライビングローラーのところにくるまで回転させてください。（イラスト参照）

2 ターンテーブルの裏側に巻かれているドライブベルトのリボンテープを持ってそっと伸ばし、ドライビングローラーの外側にかけてください。（取り付け後、リボンテープは取り除きます。）ドライブベルトを正しく取り付けるために、ターンテーブルを、5、6 回ゆっくり回転させてください。

3 ターンテーブルシートをターンテーブルの上に置いてください。

ご注意　本機は AC 100V 専用です。

重要　ご確認ください

ドライブベルトとリボンテープが、ターンテーブル裏側に取り付けられています。右の図のようにリボンテープを持って、ドライビングローラーにかけてください。

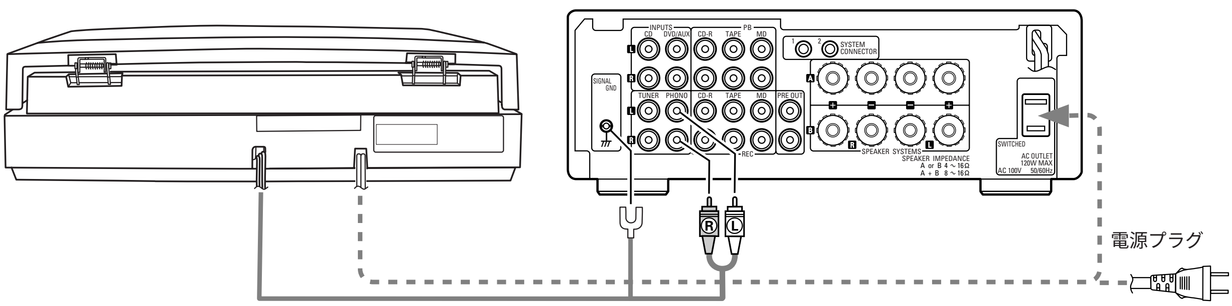
7　接続

1 本機を接続する機器の電源スイッチを切ってください。本機の電源プラグはすべての接続が終わるまでは、コンセントに差し込まないでください。

2 本機のピンプラグを下図のように接続します。

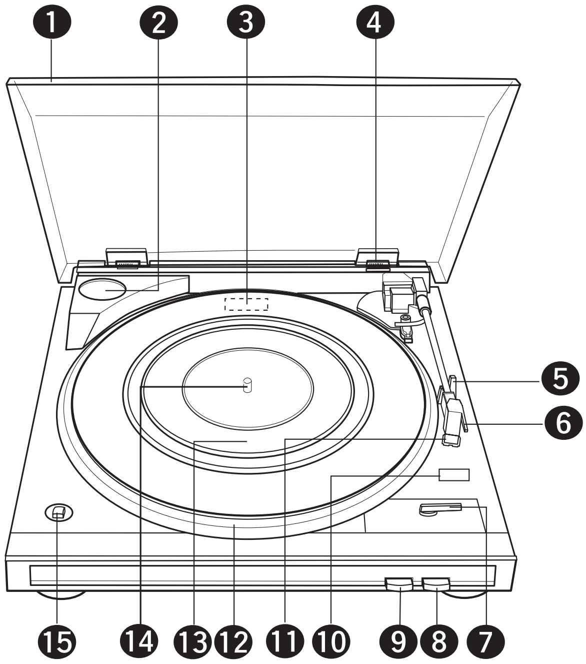
3 信号アース線をアンプの「信号アース」または「SIGNAL GND」端子へ接続します。（信号アース端子がない場合、信号アース線の接続は不要です。）

4 すべての接続が正しいことを確認してから、本機の電源プラグをアンプの ＡＣ アウトレット、または家庭用 ＡＣ コンセントに接続します。



注意：電源コードを接続した時に、プレーヤーが動作し始めた場合は、「ＳＴＯＰ」ボタンを一度押してください。

8 各部の名称とはたらき



❶ ダストカバー

❷45 回転アダプターホルダー

●45 回転アダプターを使用しない時に保管します。

❸ イコライザースイッチ

本機を接続して使用する機器に合わせ切り換えます。詳しくは、「イコライザースイッチについて」（P.7）をご覧ください。

❹ ダストカバーヒンジ

❺ アームレスト

トーンアームの保持

❻ 指かけ

❼ レコードサイズ切り換えレバー(30/17)

レコードサイズ（30cm か 17cm）にレバーを合わせてください。

❽S T O P ボタン

演奏停止

❾S T A R T ボタン

演奏開始

❿ 交換針品番ラベル

⓫ カートリッジ（レコード針）

⓬ ターンテーブル

⓭ ターンテーブルシート

⓮ スピンドル

⓯ 速度切り換えボタン（33■/45▁）

レコード回転数の切り換え

■ 電源スイッチについて

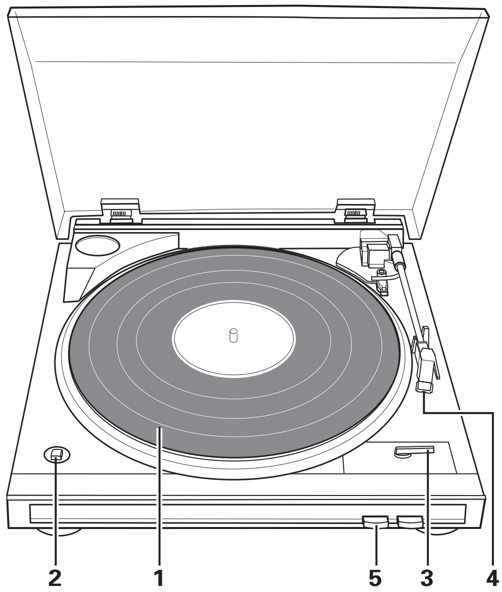
このプレーヤーには、主電源スイッチはありません。「START」ボタンを押すか（自動演奏）、トーンアームを移動すると（手動演奏）自動的に電源が入り動作を開始します。演奏終了後、トーンアームがアームレストに戻ると、プレーヤーの電源が切れます。

ただし、この場合でも、微弱な電流が流れていますので、長時間プレーヤーをご使用にならない時は、コンセントから電源プラグを抜いてください。

9 操作方法

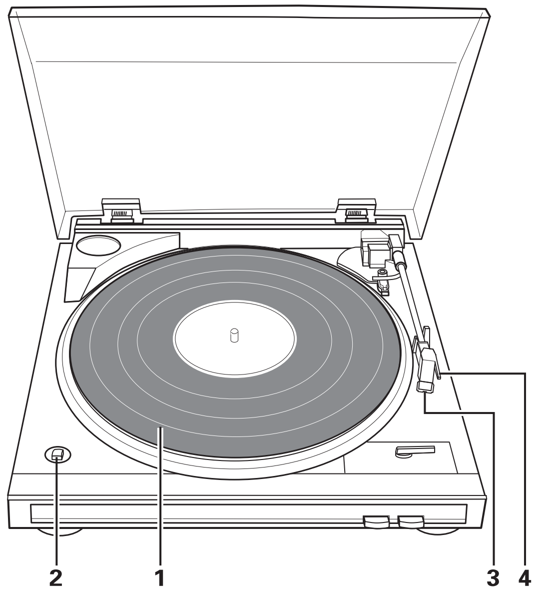
1 自動演奏の操作

1 ダストカバーを開けて、レコードをターンテーブルの上に置いてください。
（ＥＰレコードを演奏するときは45回転アダプターを使用してください。）
2 レコードの演奏スピードに合わせて速度ボタンをセットしてください。
33-1/3回転レコード ： 33 ▀にセット
45回転レコード ： 45 ▁にセット
3 レコードサイズに、切り換えレバーを合わせてください。
4 針カバーを上に上げてください。
5 「スタート」ボタンを、少なくとも１秒間しっかりと、押してください。
● ターンテーブルが回転を始め、自動的に演奏が始まります。レコード演奏がすべて終了すると、トーンアームが元の位置に戻り、ターンテーブルの回転が自動的に止まります。



2 マニュアル（手動）演奏の操作

1 ダストカバーを開けて、レコードをターンテーブルの上に置いてください。
（ＥＰ レコードを演奏するときは45 回転アダプターを使用してください。）
2 レコードの演奏スピードに合わせて速度ボタンをセットしてください。
33-1/3回転レコード ： 33 ▀にセット
45回転レコード ： 45 ▁にセット
3 針カバーを上に上げてください。
4 指かけを持って、トーンアームを演奏したいトラックの開始点の上に移動しゆっくりとおろします。
● レコードに傷をつけないよう注意してください。



■自動演奏システムについて

● 演奏中は、トーンアームやターンテーブルに触れたり、電源を切ったりしないでください。
● オートリターンはレコード演奏終了後特定のポイントで、トーンアームを戻すようにセットされています。普通のサイズのレコードについては問題ありませんが、一部のこのポイントまで音の溝が続いているタイプのレコードについては、オートリターン機能が働いてしまいます。
● 25cm レコードは自動演奏システムを使用することができません。このレコードについては、手動で操作してください。また、演奏終了後もトーンアームが戻らない場合は、「ＳＴＯＰ」ボタンを押してください。

操作方法（つづき）

3 演奏を途中で止めるには

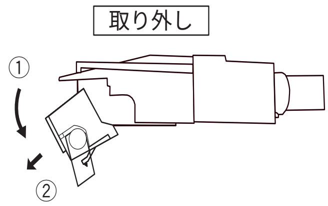
■「STOP」ボタンを押してください。演奏が止まり、トーンアームが元の位置に戻ります。

4 レコード針の交換

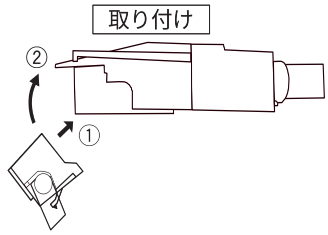
付属の針の寿命は約400 時間です。大切なレコードをいためないよう、早めに交換してください。交換針は針カバー組み込み形の DSN-84 または針カバー無しの DSN-82 が使用できます。

●針を交換する前に
アンプのボリュームを最小にし、プレーヤーの電源プラグをコンセントから抜いてください。

1　交換針の取り外し方
一方の手でカートリッジを支え、他方の手で交換針を持ち、矢印 ① の方向に押し下げてから矢印②の方向にやさしく引き抜いてください。



2　交換針の取り付け方
一方の手でカートリッジを支え、他方の手で交換針を持ち、交換針の引っ掛け部分を矢印 ① の方向に向けてカートリッジ本体の長穴の奥に入れた後、矢印 ② の方向にパチンというまで押し上げてください。



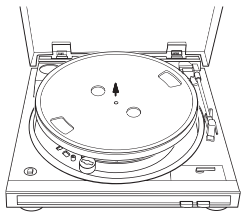
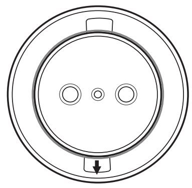
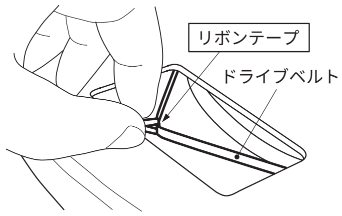
●針先の清掃
針先は非常に繊細にできていますので、取り扱いには十分ご注意ください。針先のゴミは柔らかいブラシなどで軽く取り除いてください。

10「故障？」と思われるとき

故障？と思っても、もう一度確かめてみましょう。

■接続は正しいですか
■取扱説明書に従って正しく操作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、電源を切り電源プラグを電源コンセントから抜きとり、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、販売店でおわかりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

状態	確認
電源が入らない、ターンテーブルが回転しない	●電源コードが正しく接続されていますか。 ●ドライブベルト、ドライビングローラーを確認してください。ドライブベルトがターンテーブルから外れている時は、次の手順で取り付けてください。 1  ターンテーブルを外し裏返す 2  内部の円周にベルトを掛ける 3  ターンテーブルを表にして穴からターンテープとドライブベルトの間にリボンテープを通す。 4 8 ページの「組み立て方」を参照してターンテーブルを取り付けてください。
音がでない	●ピンプラグコードが正しく接続されていますか。 ●アンプのファンクションは「PHONO 」、「AUX」または「外部」等、本機のピンプラグコードを接続したファンクションにセットされていますか。 ●交換針が正しく取り付けられていますか。
スクラッチノイズが生じる、針が飛ぶ、歪んだ音がでる	●針またはレコードが汚れていませんか。 ●針が磨耗したり、レコードにきずがついていませんか。
ハウリングが生じる	●プレーヤーがスピーカーに近すぎていませんか。 ●プレーヤーが不安定な場所に置かれていませんか。 ●演奏ボリュームが高すぎませんか。
ハミングノイズが生じる	●アース線がアンプの SIGNAL GND 端子に正しく接続してありますか。
START ボタンを押してもトーンアームが動かない	●トーンアームがアームレストにクランプされていませんか。 ●電源コードが正しく接続されていますか。

11 主な仕様

電源 / 消費電力	AC　100V　50/60Hz　2W
外形寸法	360（W）X 97（H）X　357（D）mm
質量	約 2.8 kg
駆動方式	ベルトドライブ
モータ	DC サーボモータ
回転速度	33-1/3、45 回転
ワウ・フラッタ	0.15% W..R.M.S
トーンアーム	ダイナミックバランス
アーム有効長	195 mm
カートリッジ	MM 型
出力電圧	イコライザー OFF : 2.5　mV
	イコライザー ON　: 150　mV
最適針圧	3.5　g
交換針品番	DSN-84

12 保証とサービスについて

1 この製品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
万一故障した場合は、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますのでご注意ください。
詳しくは保証書をご覧ください。

※修理相談窓口については、付属品「製品のご相談と修理サービス窓口一覧表」をご参照ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

4 本製品の保守用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

5 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
※当社製品のお問い合わせについては、お客様相談窓口にご連絡ください。
詳しくは、付属品「製品のご相談と修理サービス窓口一覧表」をご参照ください。

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。
必ず AC100V のコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。

メモ

メモ

株式会社デノンコンシューマー マーケティング

本　　社　　〒104-0033 東京都中央区新川 1-21-2
茅場町タワー 14F

お客様相談センター　　TEL：045-670-5555
【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】
受付時間　9：30 〜 12：00、12：45 〜 17：30
（弊社休日および祝日を除く、月〜金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の URL でもご確認できます。
http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください。	
購入店名：	電話（　　－　　－　　）
ご購入年月日：　　年　　月　　日	

Printed in China　00D 511 3873 307